

ノックスクッションの施工要領

注意：雨天および舗装面が濡れている場合は、接着力が確保できない恐れがありますので、施工は行わないでください。

コンクリート舗装面

★接着剤は、ノックスクッションに付属の2液をご使用ください。

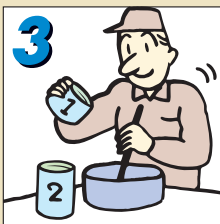


- 設置する舗装面の砂塵、ゴミを取り除いてください。(ブローアで清掃すれば効果的です。)
- ラインにかかる場合は、ラインを削り施工してください。(サンダー処理し、ブローアで清掃すれば効果的です。)



- 設置する路面へ接着剤の流れ止め枠(発泡板)を釘などで止めてください。
- ★前衛体と後衛体の間は必ず100mm以上150mm以下を目安としてあけてください。

★間をあける目的は、衝撃を受けたときに前衛体、後衛体を同時に変形させないためです。



- 接着剤をよく混合攪拌してください。使用量は前衛体、後衛体それぞれ1kgです。
- ★攪拌不足は硬化不良の原因となります。(混合時間の目安5分程度)



- 混合攪拌した接着剤を、枠の中に均一に流し込んでください。



- 接着剤を流し込んだ後、10分以内に前衛体、後衛体それぞれを接着剤流れ止め枠に入れてください。



- 天面の外装カバーをはがし、珪砂注入口の蓋を取り外してください。(前衛体1箇所、後衛体2箇所)
- 付属の珪砂60kgを全て注入してください。(後衛体は前部50kg、後部10kgを目安としてください。)

50kg、後部10kgを目安としてください。

★必ず付属の珪砂を注入してください。(川砂、土、砂利などを入れた場合、車両衝突時に二次災害を引き起こす可能性がありますので避けてください。)



- 取り外した珪砂注入口の蓋全周に付属の接着剤(1液性チューブ型)をヘラで均一に塗布した後、蓋を本体の合いマークに合せ閉めてください。(蓋の接着剤使用量はチューブの1/3が目安です。)



- 左図の縁(斜線部)の幅30mm(目安)に接着剤(1液性チューブ型)をヘラで均一に塗布した後、天面部外装カバーを圧着してください。

★外装カバーの周囲にスキマができないように接着してください。

★はみ出した接着剤はウエスなどで拭き取ってください。



- 後衛体の後底面は地覆の上に施工できるようにしています。

★地覆の高さを250mmと設定しています。付属の発泡板を用い、高さを調節してください。

★地覆の無いところに設置する場合は、スペーサとしてサンドクッションSCタイプを2段重ねてご使用ください。

★前衛体だけの設置は緩衝機能が低下しますので行わないでください。

★発泡板を複数枚使用する場合は、接着剤を塗布して張り合わせてから設置ください。地覆および後衛体の後底面に接する面にも接着剤を塗布してください。



- 一連の作業完了後、接着剤の硬化を確認してから接着剤流れ止め枠を取り外してください。なお、接着剤の硬化時間は約24時間です。

アスファルト舗装面

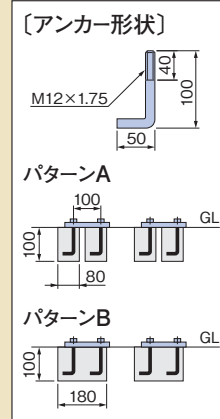
★施工にはセメントをご使用ください。



- 設置する舗装面に、スチール枠の位置に合せて、ドリルで穴をあけてください。穴の大きさは、アンカー形状を目安に開けます。(穴の寸法は左図を参考にしてください。スチール枠にアンカーをセットしてスムーズに入ればOKです。)

★前衛体と後衛体の間は必ず100mm以上150mm以下を目安としてあけてください。

●穿孔後はブローアなどを用いて、穴の中および周囲の砂塵を取り除いてください。

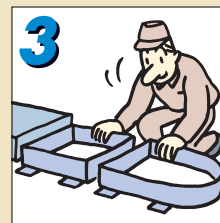


- あけた穴にセメントを穴の面一まで入れてください。

★セメントの使用量は下表を目安にしてください。

★セメント使用量

パターン	A	B
前衛体	12.0kg	13.5kg
後衛体	9.6kg	10.8kg



- アンカーをセットしたスチール枠を穴に埋め込み、セメントが固まればスチール枠の設置は完了です。



- スチール枠の中にノックスクッションをセットしてください。(前衛体、後衛体とも同じ)(ノックスクッションは接着しません。)

5 ●以降の作業はコンクリート舗装用の6~9と同じです。